

# 平成31年度（2019年度） 家庭科 年間指導計画【第1学年】

評価方法	①授業観察	②発言・発表	③家庭ノート
	④ワークシート	⑤作品	⑥宿題
	⑦定期考査	⑧発言・発表	

平成31年度 1年1学期

【教科： 技術・家庭（家庭分野）】

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準			
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解
1	4	1	ガイダンス	・家庭分野の学習内容を理解する	中学校での学習内容に興味をもち、3学年間の見通しをもとうとしている。 ①			
			5	2	・家庭や家族の基本的な機能について考えよう	自分の成長を振り返り、自分の成長や生活がどのような人々に支えられてきたか考えようとしている。 ② 家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み、家庭生活をより良くしようとしている。 ②	家庭と家族関係について課題を見つけその解決を目指して工夫している。 ③	
	・中学生としての自立を考えよう				家族の一員として自分のできることは何かを考え、工夫している。 ③		家庭や家族の重要性に気づき、家族の一員として自分にできることを理解している。 ⑦	
			自分の成長と家族・家庭生活	・家庭生活と地域との関わりを考えよう	家庭生活と地域との関わりに関心をもち、地域活動などを調べ地域の人々との協力・協働の大切さに気づいている。 ①	地域との関わり方を振り返り自分にできることを考え工夫している。 ④	自分や家族が地域の人々と協力・協働できることについて、ワークシートにまとめ発表できる。 ②④	家庭生活が地域の人々とのつながりの中で、成り立っていることを理解している。 ⑦

		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きを考えよう 目的に応じた着用</li> <li>・T・P・Oを踏まえた自分らしい着方を工夫する。</li> <li>・和服の文化を知る 和服のT・P・O 和服と洋服の構成 浴衣の着方</li> <li>・衣服の計画的な活用方法を考える</li> <li>・必要な衣服の選択方法について考える</li> <li>・衣服の手入れの必要性を理解する</li> </ul>	<p>衣服の働きに関心を持ち、目的に応じた着用について考えようとしている。 ①</p> <p>衣服の働きやコーディネートに関心を持ち、個性を生かした着方について考えようとしている。 ①③</p> <p>伝統文化としての和服に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 ①</p> <p>自分の衣服計画を立て、衣服の活用方法について考えようとしている。 ①③</p> <p>日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修などの課題に取り組もうとしている。 ①②</p>	<p>衣服と社会生活との関わりを考えながら、目的に応じた着方を工夫している。 ③</p> <p>衣服と社会生活との関わりを考えるとともに、自分らしさを衣服で表現することに関心を持ち、着方について工夫している ③</p> <p>着ていない衣服の活用方法を具体的に提案している。②③</p> <p>目的に応じた既製服の適切な選択について考え、工夫している。 ③④</p> <p>衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修などの手入れについて、考え工夫している。 ③④</p>	<p>T・P・Oを踏まえた自分らしい着方のコーディネートを、家庭科ノートにイラストで表現し、工夫した点などをまとめることができる。 ②③</p> <p>着ていない衣服の活用方法を考え、整理することができる。 ④</p> <p>既製服を選ぶための情報、表示からの情報を収集し整理することができる。 ③</p> <p>繊維や布の状態にあった方法で日常着の手入れをすることができる。 ③④</p>	<p>衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について、理解している。 ③⑦</p> <p>社会生活との関わりを踏まえた上での、個性を生かした着方について理解している。 ⑦</p> <p>和服の文化やT・P・Oに応じて着用する着物の種類の違い、構成を理解している。 ③⑦</p> <p>衣服の計画的な活用の必要を理解している。 ③④⑦</p> <p>既製服を選択するポイントについて理解し、表示や採寸などを踏まえた適切な選択方法について理解している。③④⑦</p> <p>手入れの必要性について理解し、布の性質、汚れの種類とその特徴について理解している。 ③④⑦</p>
6			衣生活と自立				
7			<p>&lt;基礎技能&gt;</p> <p>手縫い（玉結び、玉止め、半返し縫い、本返し縫い、まつり縫い）</p> <p>ミシンの名称と操作の方法</p>				

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準			
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解
2	9	14	生活 を豊 か に す る た め に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を豊かにするための工夫をしよう</li> </ul>	自分や家族の衣生活や住生活を振り返り、布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。①③	衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。①③	布を用いた物の製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。①⑤	衣生活・住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。⑦
	10		製作の計画	製作の計画	布を用いて生活が豊かになる物を考え、製作の計画を立てようとしている。①③	布を用いた物の製作の計画を立てるにあたり、安全で能率よく進める方法を考え工夫している。①③	製作方法を知り製作方法の手順を考えることができる。①③	製作目的に応じた布の選び方を理解している。これからの製作手順を見通し、自分が準備すべき材料と用具を確認することができる。⑦
	11		＜製作＞ ・布を用いた物の製作 （資源や環境に配慮した製作） エコバッグの製作	布地や部位に応じた適切な縫い方や始末の仕方を知る。①	布地に適した用具の選択ができる。①	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して安全で能率よく製作できる。⑤	製作に必要な材料や用具の選択、製作手順、目的にあった縫い方、用具の活用方法を理解し、布を用いた物の製作に関する知識を身につけている。③⑦	
	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・布の裁断</li> <li>・しるしつけ</li> <li>・まちばりの打ち方</li> <li>・ミシンの使い方</li> <li>・ミシン縫い</li> <li>・アイロンの使い方</li> <li>・ボタン付け</li> <li>・スナップ付け</li> </ul>	ミシンやアイロンの適切な取り扱い方を知る。①	ミシンやアイロンの安全で適切な取り扱いができる。①	ミシンの基本操作を習得し正しく安全に使うことができる。しるしに沿って正しく安全に基礎的なミシン縫いができる。⑤	ミシンを使用する前後の点検、簡単な調整の方法について理解している。③⑦	
				作品に完成後の目的意識をもって意欲的に製作に取り組み、生活に役立てようとしている。①	自分らしさを表現したり、使いやすさを追及したりするために色やデザインなどを考え、工夫している。⑤	使いやすさを考慮しながら、目的に応じた基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく製作できる。⑤	製作の手順や縫い方、材料と用具の選択、用具の安全で効果的な使い方などについて理解している。③⑦	

学期	月	時数	単元	学習内容	評価規準			
					生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	知識・理解
3	1	7	住生活と自立	・住まいの役割と住まい方について考えよう	住まいについて関心を持ち、住まいの基本的な役割や生活行為と住空間の関わり、日本各地の住まい方について考えようとしている。 ①③	自分の家族が心地よくくらすための工夫を考えることができる。 ③	家族の生活に合った住空間の使い方を考え、整理をすることができる。 ④	住まいの役割について理解し、自分の生活と関わらせて説明することができる。 ③④⑦
	2			・住まいの安全について考えよう	家族が安全に住むために、住まいの危険な場所や事故防止の対策を考えようとしている。 ①②③	家庭内事故の原因について考え防止対策を工夫している。 ②③	家庭内事故の原因について考え防止対策を具体的にまとめることができる。 ③	家庭内で安全に住むための室内環境の条件を理解している。 ⑦
	3			・災害に備えた住まい方について考えよう	災害に備えた住まい方について考え、安全に住むための住まい方に関心を持ち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。 ①③	自然災害への安全対策について、家庭で実践できる方法を具体的に考え工夫している。 ③④	災害への備えについて自分でできる対策を考え、まとめたことを発表できる。 ②③	自然災害への備えについて家庭で実践できる方法を理解している。 ④⑦
				・健康で快適な室内環境を考えよう	健康で快適な室内環境に関心を持ち、自分の生活と結びつけながら整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。 ①	健康で心地よい室内環境を整えるために、効果的な空気調節の方法や防音対策を考え工夫している。 ③④		室内空気の汚れや音が健康に及ぼす影響について理解し、健康で心地よく住むための室内条件を理解している。 ③④⑦
				・よりよい住生活を目指して	家族が安全で快適に住むための住まいの工夫について、考えようとしている。 ①②③ 地域の人と協力して安全・安心な住まいづくりに取り組もうとしている。 ①②	これまでの学習を生かし、家族が安全で快適に住むための方法について考え工夫している。 ③		環境に配慮した住まい方の工夫を理解している。 ⑦